

【参考】

基本構想修正案 新旧対照表

項目	新（答申）	旧（諮問）
<p>第2章 計画の背景と課題</p> <p>1 全国的な社会潮流の動向と本市の現状</p> <p>（6）新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響</p>	<p>人口減少社会における様々なサービスの維持のためにも、<u>人と人の対面でのつながりの重要性を意識しつつ</u>、デジタル化の推進が求められています。</p>	<p><u>非接触型社会の実現に加え</u>、人口減少社会における様々なサービスの維持のためにも、デジタル化の推進が求められています。</p>
<p>第2章 計画の背景と課題</p> <p>4 課題の整理</p> <p>6 行財政運営・市民参画・市政情報の発信</p>	<p>本市も同様の状況であり、<u>デジタル技術を活用して</u>、市民生活の質の向上や質の高い行政サービスの提供が必要です。</p>	<p>デジタル技術を活用して、市民生活の質の向上や質の高い行政サービスの提供が必要です。</p>
<p>山陽小野田市の将来像</p> <p>6 計画の実現に向けて</p>	<p>市政に対する市民の関心を高め、理解を深めるために、市政情報発信の充実と、市政参画の機会の提供に努め、市民と連携して「協創によるまちづくり」に取り組み、<u>社会情勢の変化に的確かつ柔軟に対応しながら</u>「住みよい暮らしの創造」を目指します。</p>	<p>市政に対する市民の関心を高め、理解を深めるために、市政情報発信の充実と、市政参画の機会の提供に努め、市民と連携して「協創によるまちづくり」に取り組み、「住みよい暮らしの創造」を目指します。</p>